

函館市企業局交通部

『バル街』を応援しています

皆様は「バル」という言葉をご存じでしょうか。バルとはスペイン語で、喫茶店や立ち飲み居酒屋のことで、食堂、社交場でもあります。2004年2月に函館市で「スペイン料理国際フォーラムin HAKODATE」という国際会議が開催されたことがきっかけで、「バル」という言葉を冠したイベントが始まりました。

会議は函館市にある日本唯一のバスク料理のレストランのオーナーシェフの方が企画され、開催されたものですが、固い会議だけでは料理文化が持つ楽しさが伝わらないと、様々なイベントが行われ、その一つとして行われたのが、函館市の西部地区の旧市街で開催されている『バル街』で、これまでに30回開催されています。スペインの飲食では欠かせない「バル」とりわけバスク地方のバルの連なりを巡る楽しさを再現しようというこの催しは、函館市民をはじめ、各方面から大変好評を博しています。



「函館西部地区バル街」の様子

「バル」という言葉はあっても『バル街』という言葉はありませんでしたが、この言葉は函館市民にはすっかり定着しており、最近では県外からの飲食店の参加もあります。

参加者は共通のチケットを購入し、チケット1枚で飲み物と料理1品（スペイン語で「ピンチョー」といいます）が楽しめる仕組みです。



「バル街電車」からの眺め

『バル街』は函館西部地区の全域で行われており、地図を見ながら全域を歩くのは大変です。そこで函館市企業局は、この催しに協力し、「バル街電車」を運行しています。「バル街チケット」の提示で運賃は無料、何回でも乗車できるようにしました。お店間の移動とともに、車窓からの西部地区の周遊を楽しむこともできます。

昨年9月のバル街の際は、函館どっく前～十字街～谷地頭の区間で2車両がそれぞれ4往復と3.5往復しました。（「バル街お帰り電車」も増発し、こちらは通常料金で運行）

次回、第31回の『バル街』は4月19日（金）に開催され、企業局もこれに協力し、「バル街電車」を運行する予定です。

【写真提供／函館市公式観光情報サイト「はこぶら」】

問い合わせ：函館市企業局 交通部事業課

電話：0138-32-1730